

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい 自治会へ加入させていただいたり、近隣の地域住民へグループホーム内で採れた野菜をお配りしたりしているが、まだ開設1年目ということと、近隣の地区が新興住宅地ということもあり、深い交流が図れていない。	近隣の地域住民とのつきあいが、深く、実のある交流になることが出来る。	・「和らぎかわら版(仮称)」を作成し、定期的に地域住民の方々へお配りする。 ・敷地内で収穫した野菜などを近隣の地域住民の方々へお配りする。 ・地区の回覧板を利用させていただき、グループホームの活動内容を積極的にお知らせしていく。	12ヶ月
2	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族の意見や要望が管理者、職員並びに外部者へ表せる機会が少なく、施設運営に反映出来ていない点があると思われる。	利用者、家族の意見や要望がより一層、聴き取る工夫をし、健全な施設運営が出来る。	・「意見箱」を設置し、利用者、家族の意見、要望を把握する。 ・運営推進会議へ利用者に参加していただき、意見や要望を伺う。	6ヶ月
3	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者及び職員のほとんどは、日常生活自立支援事業や成年後見制度について知識不足は否めず、制度の活用という点で不安を感じる。	グループホーム和らぎの管理者及び職員が、権利擁護に関する知識を深め、活用することが出来る。	・権利擁護に関する関係機関等との連携による、出張講座(運営推進会議)の開催を試みる。 ・関係機関へ働きかけ、権利擁護に関するパンフレット等を、新規契約時等に配布する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。